

「幸せ実感のまち 蓼田市」の未来を語ろう
～蓼田市総合振興計画市民会議～

結果報告書

令和 7 年 11 月
蓼田市

目次

1. 市民会議の実施概要	1	④ 第4班の意見概要.....	10
(1) 実施概要	1	⑤ 第5班の意見概要.....	12
① 目的	1	3. 第2回市民会議	14
② 参加者の募集方法.....	1	(1) 第2回市民会議の進め方	14
③ 開催日時とテーマ.....	1	(2) グループワークの結果	15
2. 第1回市民会議	2	① 第1班の意見概要.....	15
(1) 第1回市民会議の進め方	2	② 第2班の意見概要.....	18
(2) グループワークの結果	3	③ 第3班の意見概要.....	20
① 第1班の意見概要	3	④ 第4班の意見概要.....	22
② 第2班の意見概要	6	⑤ 第5班の意見概要.....	24
③ 第3班の意見概要	8	4. 参考資料	26

1. 市民会議の実施概要

(1) 実施概要

① 目的

この市民会議は、市政運営の重要な指針となる新たな「蓮田市第6次総合振興計画」（計画期間：令和9～18年度）の策定の取組の一環として、市民の皆さまの視点からご意見やアイデアをいただき、今後のまちづくりに活かしていくことを目的に開催しました。

② 参加者の募集方法

蓮田市在住の16歳以上の方から無作為に4,000人を抽出し、参加募集案内を送付しました。

【各回当日の参加者】

回	参加総数	性別		年齢別							
		男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
第1回	25人	13	12	3	1	1	4	5	4	5	2
第2回	20人	12	8	1	1	1	3	4	3	5	2

③ 開催日時とテーマ

この市民会議は全2回開催し、各回のテーマについて、グループごとに話し合いを進めました。

回数	日程	場所	テーマ
第1回	令和7年8月30日(土) 9時半～11時半	蓮田市役所西棟 第3・第4会議室	① わたしの幸せ ② 蓼田市の良いところ・気になるところ
第2回	令和7年9月21日(日) 9時半～11時半	蓮田市役所西棟 第3・第4会議室	① 幸せを感じられるまちの姿(状態) ② 幸せ実感のために活かせるもの・改善が必要なもの

2. 第1回市民会議

(1) 第1回市民会議の進め方

時間目安	内 容
9：15～	開場・受付
9：30～ 9：45 (15分)	(1) 開会・オリエンテーション ・市長あいさつ ・本日のテーマと進め方の説明
9：45～ 10：30 (45分)	(2) グループワーク①：わたしの幸せ ・『自己紹介』(お一人1分程度)の後、個人が幸せを感じることを共有 【手順】①各自付箋に意見を記載（5分）⇒②グループで意見を共有（20分）⇒③類似する付箋をグループ化し、見出しつける（15分）
10：30～ 11：10 (40分)	(3) グループワーク②：蓮田市の良いところ・気になるところ ・上記グループワーク①の幸せの要素に関して、市の良いところ・気になるところを共有 【手順】同上。グループの中で発表者の決定（複数人でも可）と発表内容の整理をする。
11：10～ 11：25 (15分)	(4) グループ発表 ・すべてのグループから話し合った内容のポイントを発表
11：25～ 11：30 (5分)	(5) 閉会（約5分） ・本日のまとめ、次回以降のスケジュールの確認

(2)グループワークの結果

① 第1班の意見概要

①わたしの幸せ

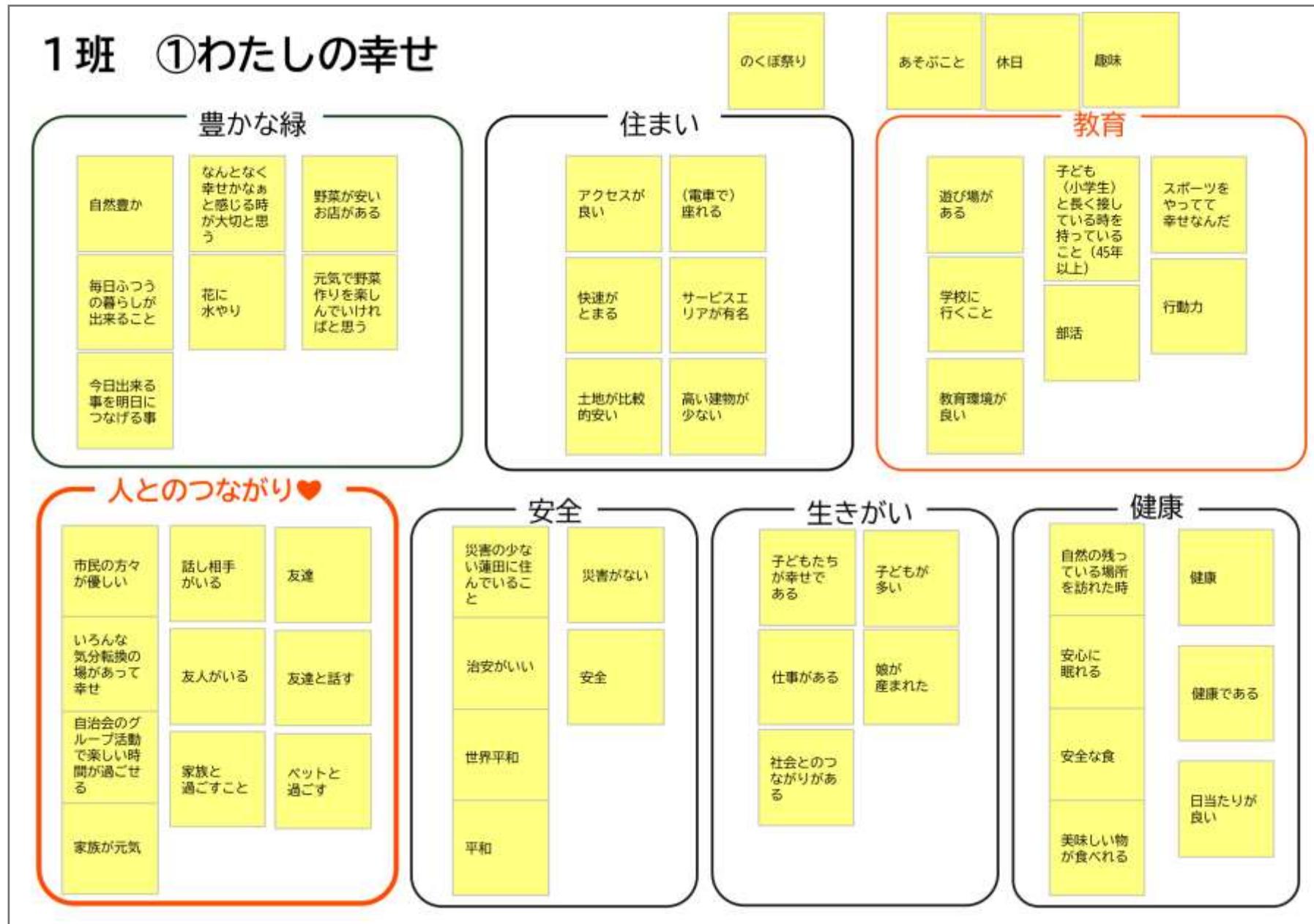
- 一番は健康であること。健康で安全なものを食べられることは最も幸せ。その他には、豊かな緑、住まい、教育、生きがい、安全、人とのつながりが挙げられた。
- 今のところ蓮田では災害がなく、安全で安心して住んでいられる。
- 豊かな緑は蓮田の特色で、野菜を作ったり、水やりして幸せを感じている。
- 人とのつながりは、ペットと過ごしたり、話し相手がいる、お友達がいる、家族が元気、市民の方が優しい。
- 住まいでは、電車で快速が停まつたり便利、都内までの交通の便がいい。
- 生きがいは、子どもが多く、子どもたちが幸せな景色を見ていることが、自分の幸せにもつながっている。
- 教育は、遊び場がある、高校生は部活で幸せを感じている、また教育環境がいい。

②蓮田市の良いところ・気になるところ

- 良いところとしては、JR の快速が停まり都内へのアクセスがいい、駅の周りがきれい、ごみが少ない、ごみ収集が来た後の道がきれい、治安がいい、自然が豊か、梨の産地、市役所の対応が優しい。
- 気になるところとしては、バスの便が少ない、中心地以外の離れたところになると車で移動しなければ不便なので免許返納がしにくい。
- 川が多いところから水害が心配、病院の数も高齢化に伴って足りるか。公共施設の予約システムが不便。
- 子育てに関しては、交流の場がちょっと少ない、ショッピングモールがない、お出かけする場所が少ない。
- 道路については、歩道が少ないのでベビーカーが通りにくい、穴や凹みがあつたり、道が狭い。
- 駅前のお店が少なくて寂しい、飲食店が少ない、駅前をもっと栄えさせたい、活気のあるまちづくりにしたい。



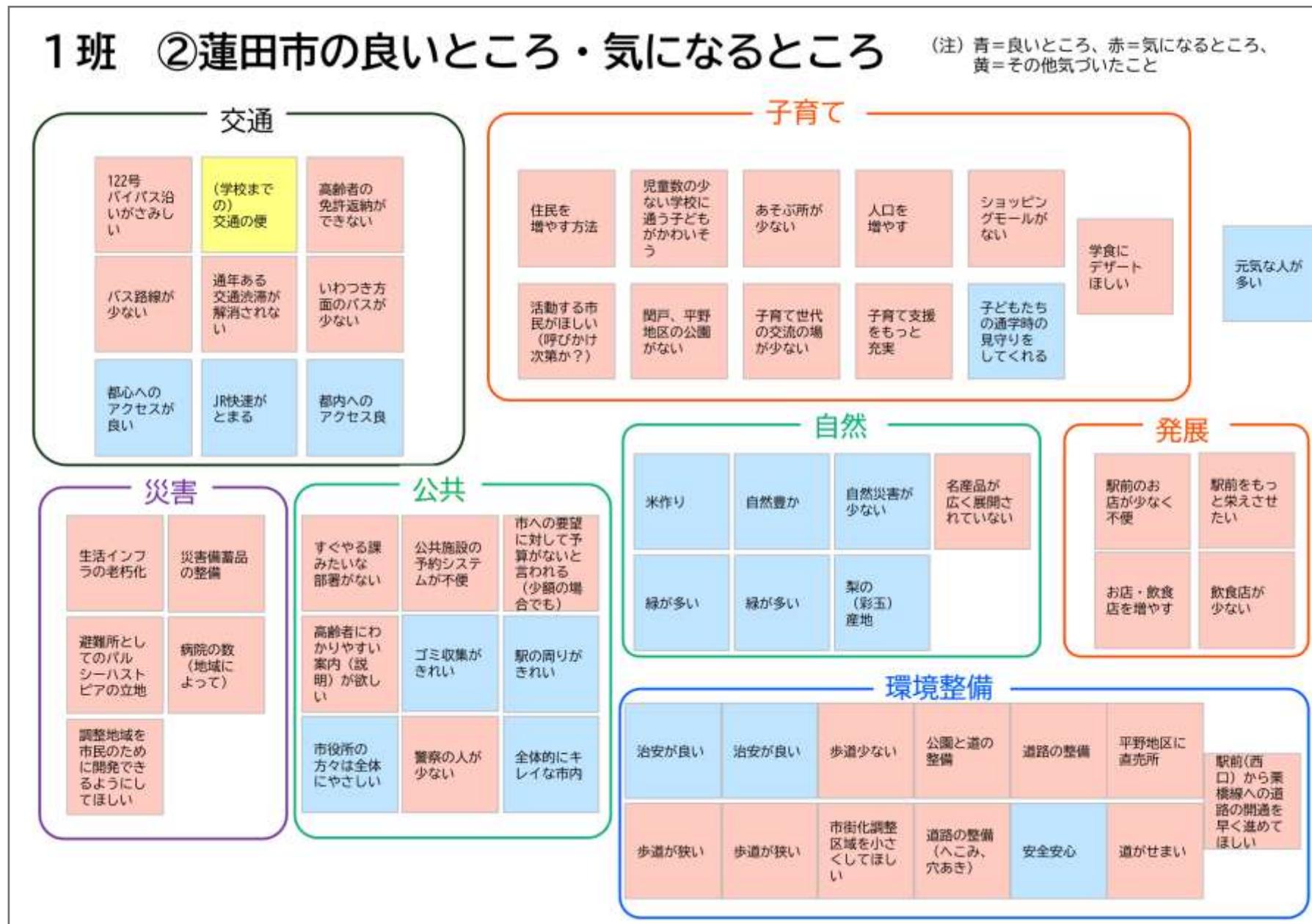
模造紙再現(1班)①



模造紙再現(1班)②

1班 ②蓮田市の良いところ・気になるところ

(注) 青=良いところ、赤=気になるところ、
黄=その他気づいたこと



② 第2班の意見概要

①わたしの幸せ

- ・ 健康、良好な人間関係からのつながり、趣味ややりがいを中心とした楽しみ、災害が少なく縁が多いなど自然のこと、日常生活の安定が挙げられた。

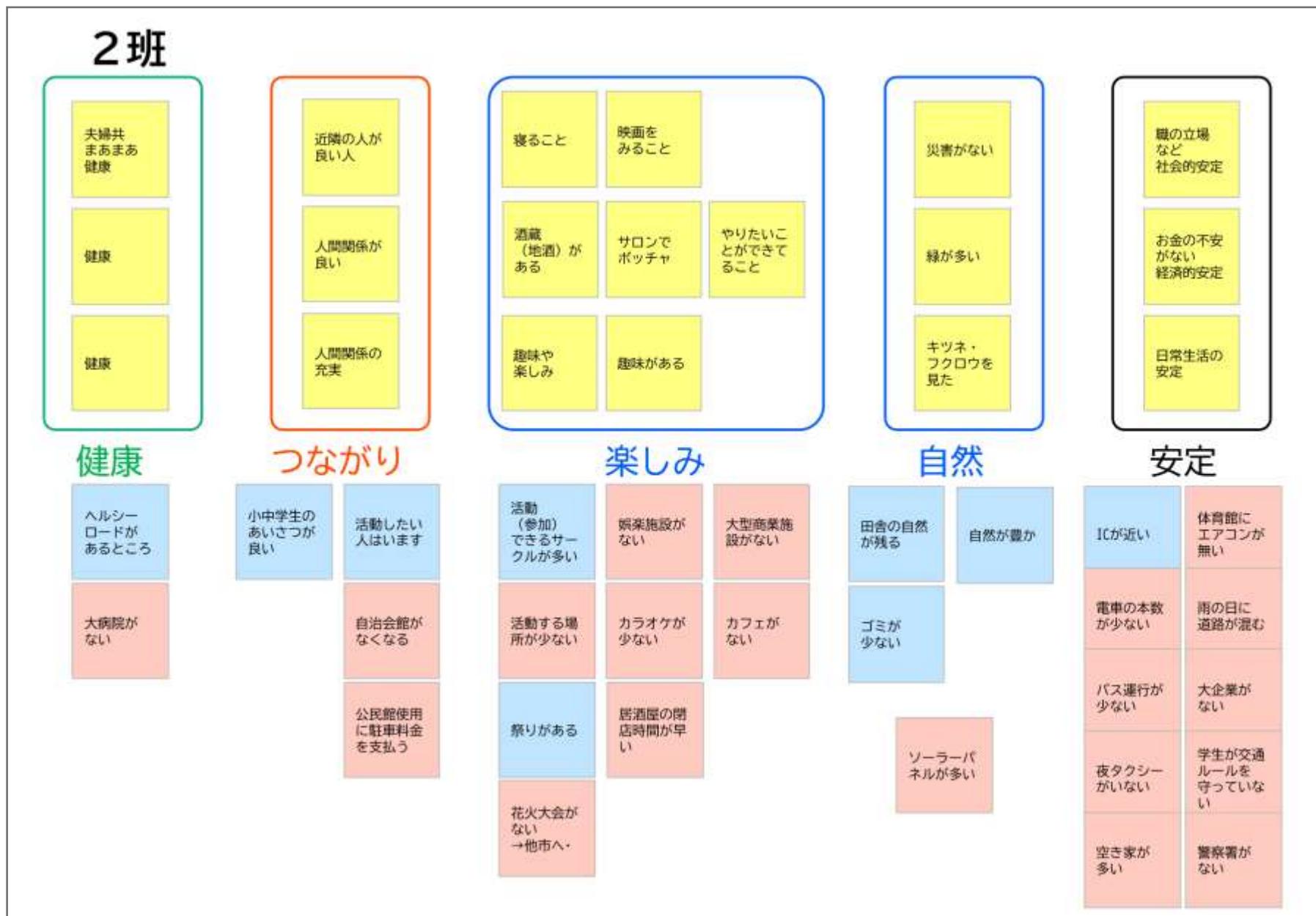
②蓮田市の良いところ・気になるところ

- ・ 健康に関して、ヘルシーロードがあるところが良い。気になるところは、大病院が少ないとこと。
- ・ 人のつながりでは、小中学生の挨拶が非常にいい。小中学校の教育が行き届いている。人間関係を充実させたい、活動したいという方はいっぱいいるが、活動する自治会館がなくなったり、駅前の公民館では使用料に加え駐車料金を払うことは疑問。
- ・ 趣味や楽しみについて、活動参加できるサークルは多いが活動する場所が少ない。先週の蓮田まつりは、白岡と伊奈のお祭りと重なり、花火大会がある伊奈へ行く市民が多いので、花火大会をやりたい。それから、娯楽施設が少ない、カラオケがない、カフェがない。スタバあるけどサービスエリアの中。大型商業施設もモラージュまで行かなければない。これでは蓮田市にお金が落ちない。サービスエリアやインターチェンジができたが、買い物しても蓮田市にお金は落ちない。
- ・ 自然に関しては、自然豊かなところはとてもいい。ゴミがとても少なく、先日の蓮田まつりでも落ちているゴミが少なかった。今までにはカブトムシが多く集まる木があったが、ソーラーパネルが多く設置されて、全くカブトムシが集まらなくなった。
- ・ 日常生活の安定に関しては、インターチェンジが近いところはとてもいいが、蓮田駅は宇都宮線のみで人身事故が起こったらアウト。都内に比べて電車の本数が少ない。バスの運行が少ない。そして夜のタクシーがない。また、空き家が最近目立っているので、防犯面で心配。それと高校では体育館にエアコンがない、教室もクーラーは入っているけれども暑い、生徒だけで温度の調節ができず困っている。それと大企業をもっと誘致して税収を増やしてはどうか。学生が交通ルールを守っていない。蓮田市には警察署がないので、非常に心配。



模造紙再現(2班)

(注) 青=良いところ、赤=気になるところ、
黄=その他気づいたこと



③ 第3班の意見概要

①わたしの幸せ
<ul style="list-style-type: none">安心安全、家族、つながり、教育、商業・環境が挙げられた。
②蓮田市の良いところ・気になるところ
<ul style="list-style-type: none">安心安全について、治安が良い、駅の近くが静かで環境は良い。理由は防犯パトロールが盛んなためだが、自治会や地域防犯推進員の高齢化により、活動を維持していくのが難しくなっている。家族と一緒に外食したり、あるいは美味しい物を食べたりして、家族というものが安心して過ごせる。つながりについて、イベントがあったり、はすぴいかわいい、まつりとかいろんなつながりがあっていい。その一方、実行委員会とか、いろんな団体の高齢化が進んでいて、イベントの維持が大変ではないか。あと集まれる場所がない、交流するところがない。教育関係でいろんな講座があるのがいい。その一方、横のつながりがなく、継続が難しい状態になっている。商業・環境について、緑が豊かだが、どこへ行っても駐車場があまりない。また、市民要望を実現するために、他市の警察や保健所、税務署などへ行かねばならないので改善してもらいたい。全体を通して、人と人のつながりのためのコミュニケーションの場をどうやってつくっていくかが今後の課題となる。

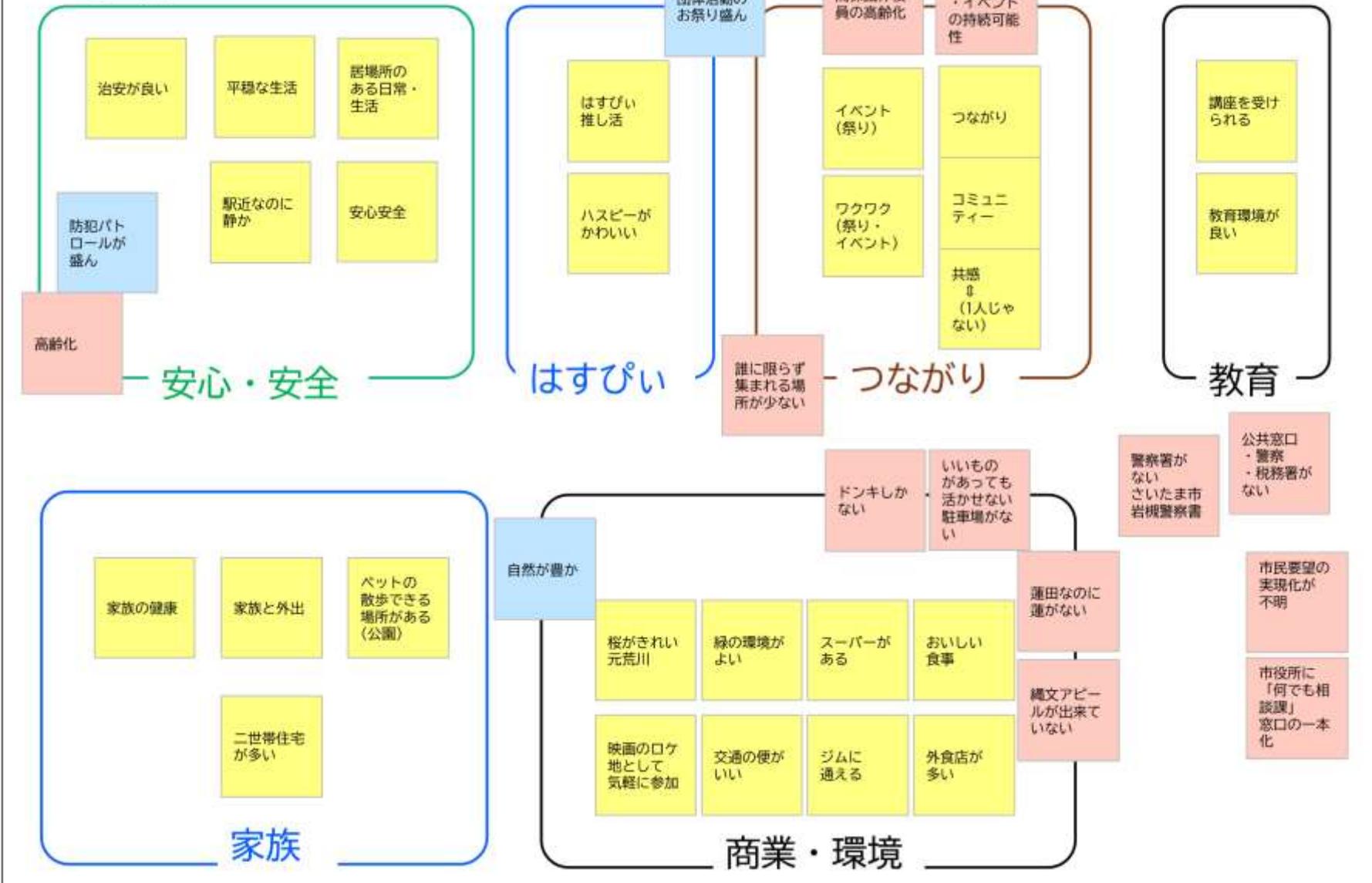


(注) 青=良いところ、赤=気になるところ、

黄=その他気づいたこと

模造紙再現(3班)

3班



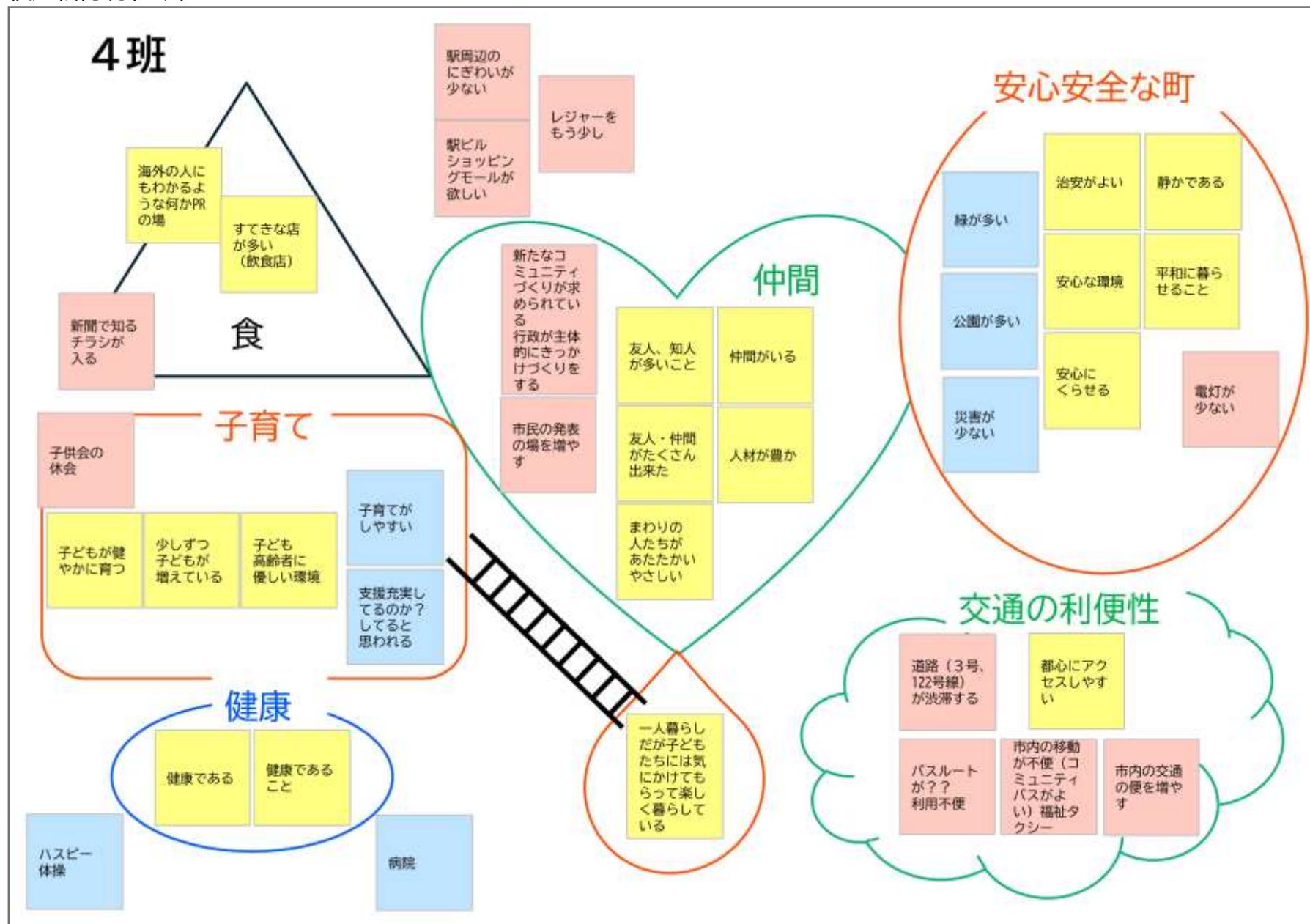
④ 第4班の意見概要

①わたしの幸せ
<ul style="list-style-type: none">・ 食、仲間、安全安心なまち、子育て、健康、交通の利便性が挙げられた。
②蓮田市の良いところ・気になるところ
<ul style="list-style-type: none">・ 仲間については、友人とか知人が多い、たくさんの仲間ができた、人材がいろいろ豊富である、あと蓮田市は周りの人たちが温かい、優しい。・ 安心安全なまちについては、公園が多い、治安が良い、静かである、平和に暮らせる、災害が少ない。・ 食については、素敵な街、素敵なお店・飲食店が多い。・ 子育てについては、子どもが健やかに育つ、少しずつ子どもが増えている地域もある、子どもや高齢者に優しい環境である。・ 交通の面に関しては、都心にアクセスしやすい。ネガティブな意見では市内の移動が不便、コミュニティバスが少ない、福祉タクシーが少ない。市内の交通の便を増やすしてはどうか。渋滞が起こる、バスルートがない、このあたりは検討していきたい。・ 健康について、蓮田病院があるのはいい。 <p>全体的にまとめると、子育てや安全安心の面で、今、楽しく暮らしている方が結構いる。ただ、交通の面がちょっと不安材料でもある。また、世代によって意識が違い、上の方は仲間とかコミュニティができているが、下の世代の方はコロナもあって、人とのつながりがちょっと薄いので、今後どうしていくかを検討したい。</p>



(注) 青=良いところ、赤=気になるところ、
黄=その他気づいたこと

模造紙再現(4班)



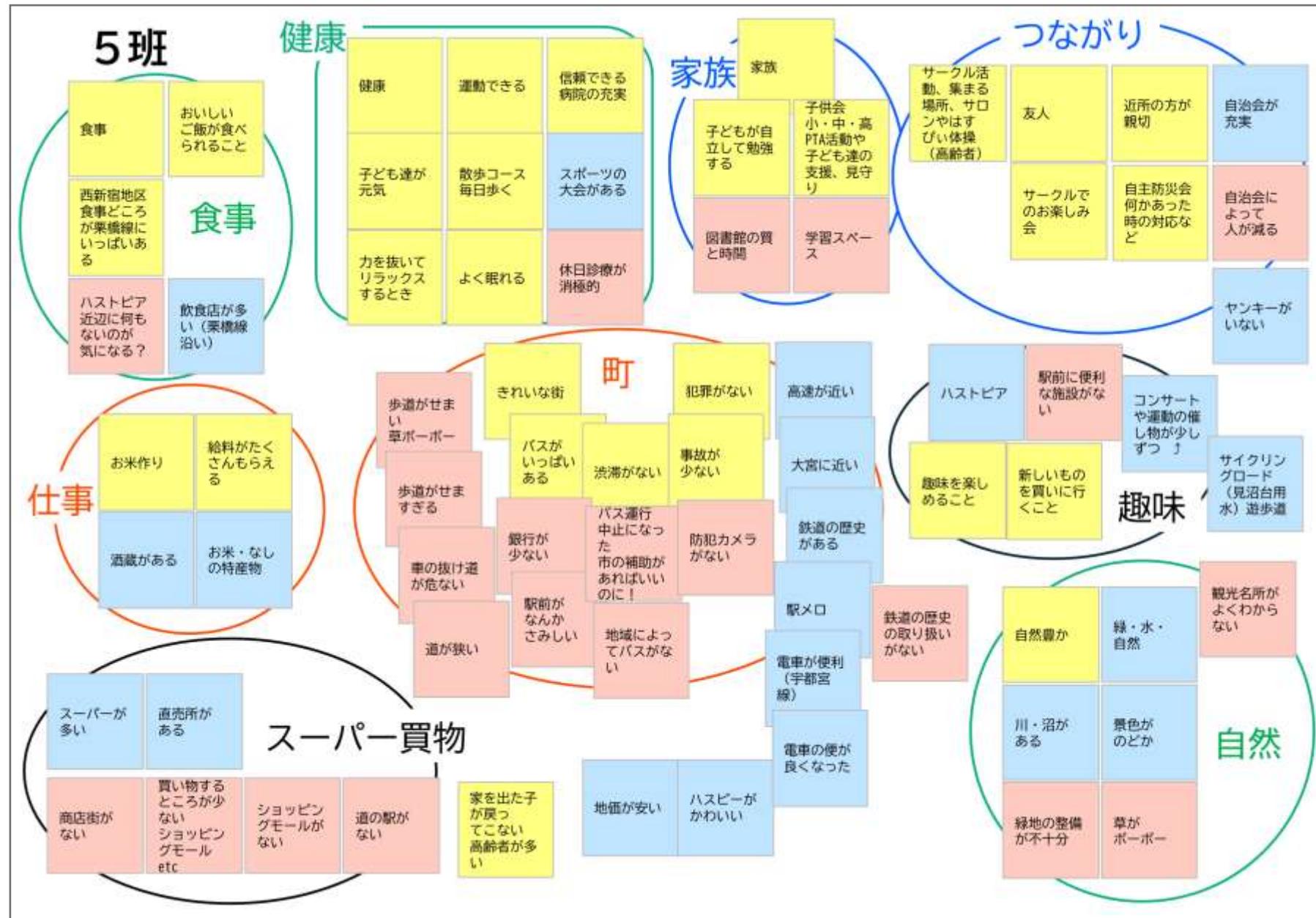
⑤ 第5班の意見概要

①わたしの幸せ
<ul style="list-style-type: none">・ 食事、健康、家族、つながり、仕事、町、趣味、スーパー買い物、自然が挙げられた。
②蓮田市の良いところ・気になるところ
<ul style="list-style-type: none">・ 食事に関して、飲食店は多いが、栗橋線とハストピア周辺では偏りがあって、便利なところと不便なところがある。・ 健康について、スポーツ大会とか広報にいっぱい載っていて充実している。自然ともつながっていて、健康的だが、万が一病気になった時、大きな病院がなくて不安。・ 家族は、子どもが育つといいとか家族のつながり。図書館の開閉時間と学習スペースが少ない。図書検索の利便性も向上してほしい。・ 人とのつながりは自治会によってはすごい充実していて、体操とかやっているが、自治会によっては若い人がどんどん抜けている。・ 仕事について、お米がいっぱいとれるのと、酒造があったり、梨の特産物があったり、この辺もまた蓮田市としてアピールできればいい。・ まちづくりについて、やっぱり歩道が狭い、狭いのに草がボーボー生えている、あと交通だとバスが住んでいる地域によって全然来ない、銀行が不便になった、駅前が寂しい。いいところは、鉄道で大宮に近いとか高速道路に近く利便性がある。防犯カメラは主要なところに置いてほしい。土地の値段が安いので、どんどん利活用して、誘致していけばいい。はすぴいが可愛いので、はすぴいの道の駅をつくってほしい。・ 買い物について、スーパーが多くても、高齢者は移動できないので、バスを充実させないと今後厳しい。梨とお米とか、直売所をもっと充実させたらいい。・ 趣味については、コンサートとかハストピアとかの催し物が増えている・ 自然との絡みでサイクリングロードみたいなのがあっていい。自然豊かで沼とか川が売りだが、整備が不十分で、草がボーボーだったりして、綺麗な環境とは言えない。・ 蓼田は本当に人がいい。新参者に対しても年長者が気軽に接してくれる。自然が豊かで、酒蔵があったり、魅力的なところばかり。遠方へ下道で行く場合に蓮田を通るので、立地を活かして、商業施設があると、蓮田市にもお金が落ちると思う。ほんとに蓮田はいい場所。



(注) 青=良いところ、赤=気になるところ、
黄=その他気づいたこと

模造紙再現(5班)



3. 第2回市民会議

(1) 第2回市民会議の進め方

時間目安	内 容
9：15～	開場・受付
9：30～ 9：45 (15分)	(2) 開会・オリエンテーション ・本日のテーマと進め方の説明
9：45～ 10：30 (45分)	(2) グループワーク①：幸せを感じられるまちの姿（状態） ・前回の「テーマ①わたしの幸せ」をもとに「幸せを感じられるまちはどんな状態であるか」を共有 【手順】 ①各自で付箋に記入（5分）⇒②グループで意見を共有・分類し、特に大切にしたい意見のかたまり（キーワード）を選ぶ（20分）⇒③キーワードをつなげて、幸せを感じられる未来のまちの姿を表すキャッチフレーズを作成（20分）
10：30～ 11：10 (40分)	(3) グループワーク②：幸せ実感のために活かせるもの・改善が必要なもの ・ワーク①で作ったキャッチフレーズ実現のため、市の資源のうち、活かせるものや見直しが必要なものを共有 【手順】 ①各自より具体的に付箋に記入（10分）⇒②グループで意見を共有・分類（25分）⇒③発表内容の整理（5分）
11：10～ 11：25 (15分)	(4) グループ発表 ・すべてのグループから話し合った内容のポイントを発表
11：25～ 11：30 (5分)	(6) 閉会 ・本日のまとめ ・市長あいさつ

(2)グループワークの結果

① 第1班の意見概要

キャッチフレーズ 「みんな元気で楽しいまち」

- ・ キャッチフレーズは「みんな元気で楽しいまち！」とした。前回の発表時に、私の幸せについて、みんなの意見は、何が何でも健康であること、死ぬまで健康であること、健康がやっぱり一番となって、メインのテーマは健康である。その次に、心身ともに健康でなければ幸せではないので、2番目のテーマがつながりになった。それに付随して施設や安心もあるが、なんといっても健康、つながり。元気で健康、楽しいまちっていうのは、施設の利用によって、また若い人たちが楽しむことによって、楽しいまちにしていければいいのではないかと考えた。
- ・ 第一の健康について、子どもたちがのびのびと学校生活を送るとか、子育てがしやすい。健康に第一に重要なのが、簡単な運動ができる公園があるとか、運動機能が測定できる施設が身近にあれば、みなさん気軽に筋力測定とかできて自分のことの把握にもなる。また、便利で身近な場所に、公園や植物園があると、健康にいいのではないか。
- ・ つながりについて、人々の交流がまずあって、祭りとか生涯学習に参加することによって、高齢者にとっても生きる楽しさっていうのがどんどん広がっていき、老後も社会で活躍できる場所がある。あとは、せっかく蓮田には市民歌があり、鼓笛隊とかで聞いて耳馴染んでいるが、結構知らない方も多い。市民歌はすごく歌詞やメロディーがよいので、聞いてみていただきたい。また、蓮田の地産品を使ったグルメがあると、みなさん寄ってきて、つながり、交流が生まれるのではないか。さらにショッピングセンターの充実、子育ての取り組み施設の充実を課題として、これから増やしていくと、若い人がどんどん蓮田の方に来てくれるのではないか。
- ・ 施設について、大まかに分けて、買い物の施設や神社仏閣。結構知る人ぞ知る場所に良い神社があったりするので、そういったところの紹介も広報でしていただくと、みなさん散歩がてらに行ってみようとか、健康増進につながるので、アピールするといい。もう一つ、道路について。道路が悪いと散歩もしにくく、出かける気分にもなりにくいので、交通の便がよく、移動しやすいように、バス路線の拡張とか、利便性をよくするライドシェアを考えていただくとか、歩道の整備が必要。あとは巡回バスを、朝から晩までなくともコンパクトな時間帯に集中して、その時間に人が動けるように考えられると、もっとみなさん便利になるのではないか。高齢者になると免許を返納しなくてはいけないこともあるので、そういった便利さを今後の課題として考えていただきたい。

- ・ 要望を多く申し上げたが、すべてにおいて財源が必要になり、お金がないとやりたいことはあっても、何もできることになる。お金を生み出す工夫、他県から人を呼び込む政策、また市民の活性化、地場産品のアピール、こういったことができると労働の機会も増えるので、ぜひとも市長さんにセールスマンになっていただき、蓮田をアピールしていただき、広めていただければと思う。
- ・ 一方で、支出を抑える工夫も必要。やはり蓮田は高齢者の比率が全国平均より3%ぐらい多いので、医療費とか介護費も今後どんどん増えていくのではないか。元気なうちに、早めの段階での対応が必要。市民に必要な知識や気づきをみんなに広めて、市民の知識が上がるよう注力していくことが大事。せっかく80歳まで健康寿命があるけれども、残りの10年寝たきりなんていうのは本当に辛い。そういうことを防ぐためにも、早め早めの予防策をみなさんに広く周知していただくといいと思う。



模造紙再現(1班)

1班 ★みんな元気で楽しいまち!★

(注) 黄=幸せを感じられるまちの状態、
青=活かせるもの、
赤=改善が必要なもの

つながり

市の関係業務で共通事業についてはタテ割りではなくヨコのつながりで統制して進める事を考えていいく	お店などの人が集まる場所をつくる	皆を誘って集会に	人口が多くてにぎやか
子育ての取り組み施設の充実	人々の交流がある(祭り、生涯学習)	高齢者の住みやすい町づくり	若者が戻ってくる町
ショッピングセンターの充実	老後も社会で活躍する場所がある	クラブ活動がある地集会	平均年齢を下げていく若者を招く
「あの日のオルガン」	はすびいや市民歌などのアピール(CD作成)	市民歌を広める(地元愛を育てる)	蓮田グルメがほしい(地産品を使った)

安心

ペットと一緒に避難できる避難がある	安全	総合病院をつくる	交通指導員補充
治安が良く安心に暮らせる	きれい	大きな病院があつて安心できる	補助金・助成金がたくさんある

健康

子どもが心配事や悩みが話せる環境	子どもたちがのびのびと学校生活を送る	元気であそぼう公園で	整備された遊び場がある	・近くの公園・広場に集う場となるところが欲しい ↓ ・運動遊具(簡単な) ・フリーで遊べる場
今ある自然を活かす	川辺ウォークがある	はすびい体操で運動&交流	子育てがしやすい(施設・助成金)	スポーツ施設の使用料をスポーツ施設に関する費用に留保すべき

散歩道の整備(草刈)特に元荒川沿いの道

法改正申請して農地休耕地の活用を推進する

運動機能が測定できる施設がある

カンタンな運動ができる公園

スポーツ施設の充実
メンテナンスが不充分な所が目につく→費用の問題?

(町の中心)便利な場所にほしい

施設

都心からのアクセスの良さを活かす	高齢化=免許返納 ↓歩く○り自転車行動 ↓バスのない地区の人々 ↓巡回バスが欲しい ↓曜日、時間限定期できないか	都心などアクセスしやすい(JRの複線)	観光施設がある(駅ビル、博物館etc…)	植物園がある公園	緑の田園づくり	観光施設を増やす
バス路線の拡張	スーパー買い物しやすい所があれば良い	道路整備改善の地(まち)	歩く人は歩道を	梨づくりのまちさいざく	市民まつりの継続	体育館の場所にプールも欲しい

ライドシェアを考える

交通の便がよく移動しやすい

バス運行路のない地区は巡回バスの活用曜日、時間を決めて(毎日ではなく)運行すると高齢者に便利

妙楽寺

コンビニでも有ればいい

元荒川のあるまち

神社・お寺を活かした観光アピール

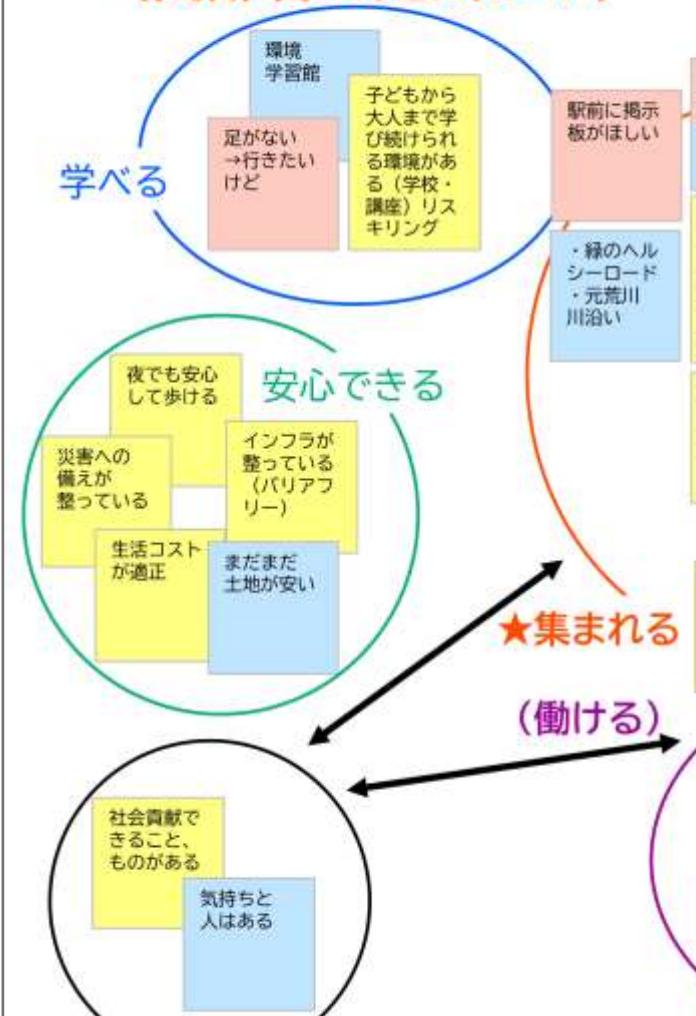
② 第2班の意見概要



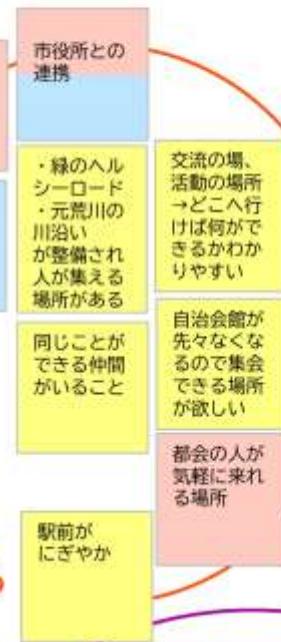
キヤッチフレーズ 「高齢者を元気に！集まる街 蓼田」

- ・ 蓼田市民に向けたキヤッチフレーズとして、1つめに「高齢者を元気に！集まる街 蓼田」、2つめに「行きたいところに行ける街 蓼田」を挙げた。また、蓼田市以外の方に、蓼田のキヤッちフレーズである「とかいなか」を使って、「とかいなかの理想郷 蓼田」という3つのキヤッちフレーズを考えた。
- ・ 「集まる街 蓼田」を中心に出てきたキーワードが、学べる、集まれる、働くという3つ。まず学べるについては、私の働いている会社でも、リスキリング（学び直し）という言葉が盛んに使われているが、子どもから大人まで学び続けられる環境がある街がいいと考えて、今利用できる施設、環境学習館、これをぜひ活用していきたい。大人から子どもまで活用したいが、ちょっと足りないものとして、行きたいけど足がない。
- ・ また、集まれる、働くというキーワードからは、やはり交流の場、活動の場がどこへ行けば何ができるかわかりやすい環境や、自治会館等の集まれる場所がほしい。具体的には、駅前に掲示板がほしい。活動の場や、どこに行けば何があるかについて、インターネット等を使えない高齢者の方は、掲示板が駅前にあるとわかりやすいのではないか。蓼田市役所は話をすれば動いてくれるとの意見があったので、市役所との連携をこれから利用していきたい。それから、元荒川沿いが整備されて、人が集まれる場所があればいい。今使えるものとして緑のヘルシーロードや元荒川沿いなどの自然は、これからも蓼田市として使えるものになるのではないか。都会の人が気軽に来れる場所、走りに来たり、バーベキューしたりとか、そういう場所があると、蓼田市に人が来てくれるのではないか。
- ・ さらに、集まれるというところでは、子どもが遊べる屋内施設がほしい。家族や友人と一緒に訪れて遊べ、飲食がてきて、買い物ができるような場所があるといい。地元で働く機会があるといい。ここに関しては、ちょっと今活かせるものが出てこなくて、足りないものとして、やっぱり大型のショッピングセンターが市内にほしいこと、大きめの企業が来てくれれば雇用につながるのではないか。
- ・ それから、行きたいところに行けるというキヤッちフレーズについては、買い物や病院に行くコミュニティバスのようなものがほしいとか、公共交通機関が便利で、高齢者が免許返納できる街にしたいという声があったので、コミュニティバス、デマンドタクシーなどがあればいい。
- ・ これらによって、蓼田市から発信できるキヤッちフレーズ「とかいなかの理想郷 蓼田」に近づけるのではないか。

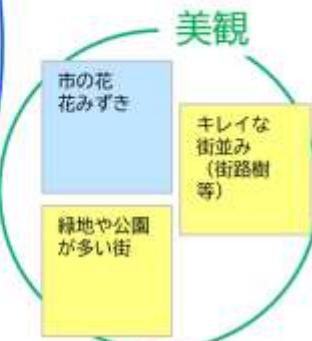
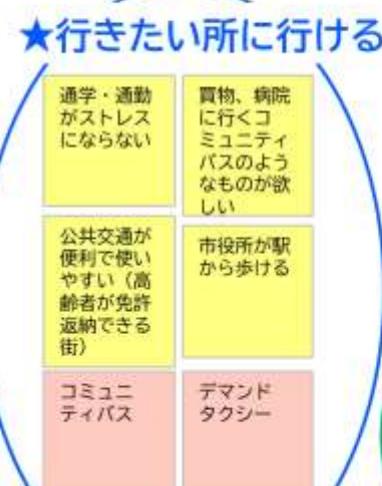
2班 集まる街 蓮田 (高齢者を元気に!)



とかいなかの理想郷 蓮田



行きたい所に行ける街 蓼田



(注) 黄=幸せを感じられるまちの状態、
青=活かせるもの、
赤=改善が必要なもの

③ 第3班の意見概要

3



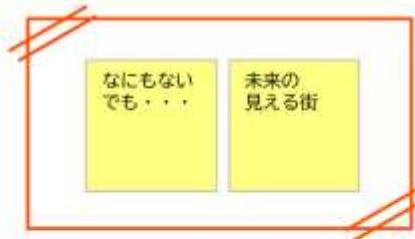
キヤツチフレーズ 「何もない。でも未来が見える街」

- 今日の話し合いでは、どちらかというと課題に関する意見が出た。蓮田市には何が足りないか、何をしてほしいか、意見を交わした時に、教育のまちということに対して、蓮田市は色々なイベントがあり、交流はしているけれども、地域性や地域独自であって、隣同士の地域がつながっていない。例えば、蓮田市民まつりについて、西口の人たちは東のまつりと言って、線路を越えて行くことが少ないので、西と東に別れてしまう。考え方方が違うと、西と東の交流がなかなかない。それぞれのイベントはすごく素晴らしいが、それぞれで終わり、うまい具合に混ざることがない。蓮田市には教育関係でも、勉強や学習とか広報紙を見ると色々なイベントをやっている。でも、その人たちが横のつながりがないから、活動がどこにもアピールされていないので知ることができない。広報力も少ない。自治会についても同じで、役員をやりたくない、会費のこととか、自治会の悪いところばかりが出て、自治会の良い点をアピールできていない部分がある。
- また、繁華街がないので、夜になって真っ暗になる。繁華街は大人の憩いの場になるので、交流の場がない。特に中学生、高校生たちが、駅の周辺でちょっと寄って飲食できる場所がない。基本的に交流する場が蓮田市は少ない。蓮田市は教育のまちと堂々と大きな看板も立っているが、色々な拠点にも問題がある。子どもたちが勉強するのは図書館一箇所と数少ないので、子どもたちが勉強したい時に図書館が溢れている。座る席がなくて、通路で椅子に座りながら勉強している人もいる。そういうところも教育になるので展開していきたい。
- そう考えた時に、子どもたち自身が手を挙げて、自分たちの意見を言える場所がどこにもないのではないか。子どもたちの意見に対して大人が口を出しちゃったら、子どもたちが絶対手を挙げない。そういう意味で、子どもたちが市議会に来て、議会の経験をする、子どもたちの未来会議をつくってはどうか。例えば、市民まつりでは、一つのテントについて、中高生の時でもいいので任せて、子どもたちもイベントに参加させる。子どもたちも一緒になって、色々な運営を知るっていうことも大切だと考えた。また、部活動や行事は市外で色々な大会があるが、市内での大会や部活に対するイベントがない。さらに、市役所になんでも課をつくり、窓口を一本化してほしい。意見を受け入れる場所が色々なところにあるが、一つにまとまっていない、集約されていないと感じている。
- 蓮田はこれだ、と言えるところがないので、私たちはあえて、何もない、でも子どもたちが好きな意見を言える、自分たちがのびのびと生活できる、だったら未来が見える街になるのではないかと考えて、「何もない。でも未来が見える街」を蓮田市のキヤツチフレーズとした。

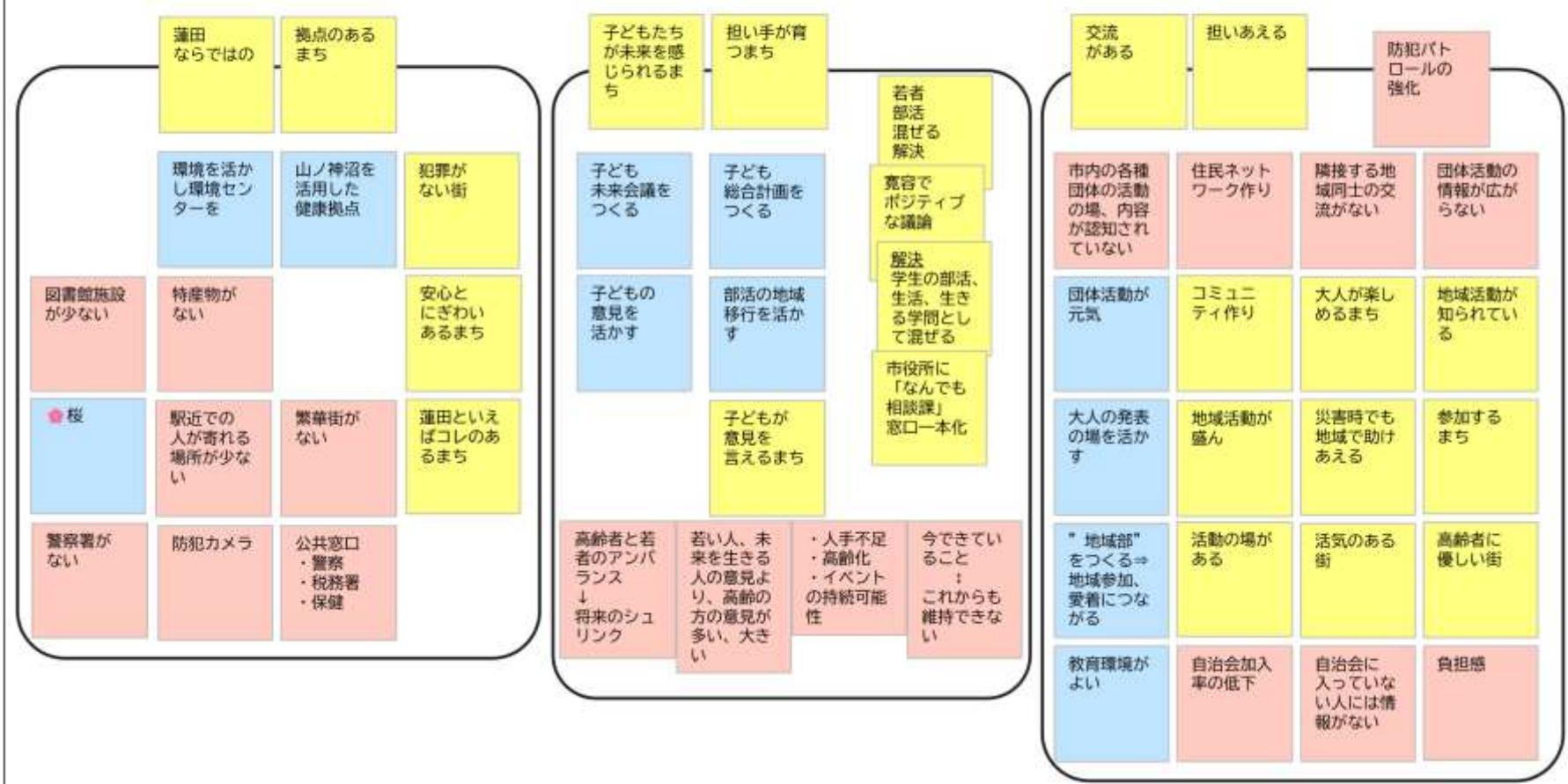
模造紙再現(3班)福祉

3班

キャッチフレーズ



(注) 黄=幸せを感じられるまちの状態、
青=活かせるもの、
赤=改善が必要なもの



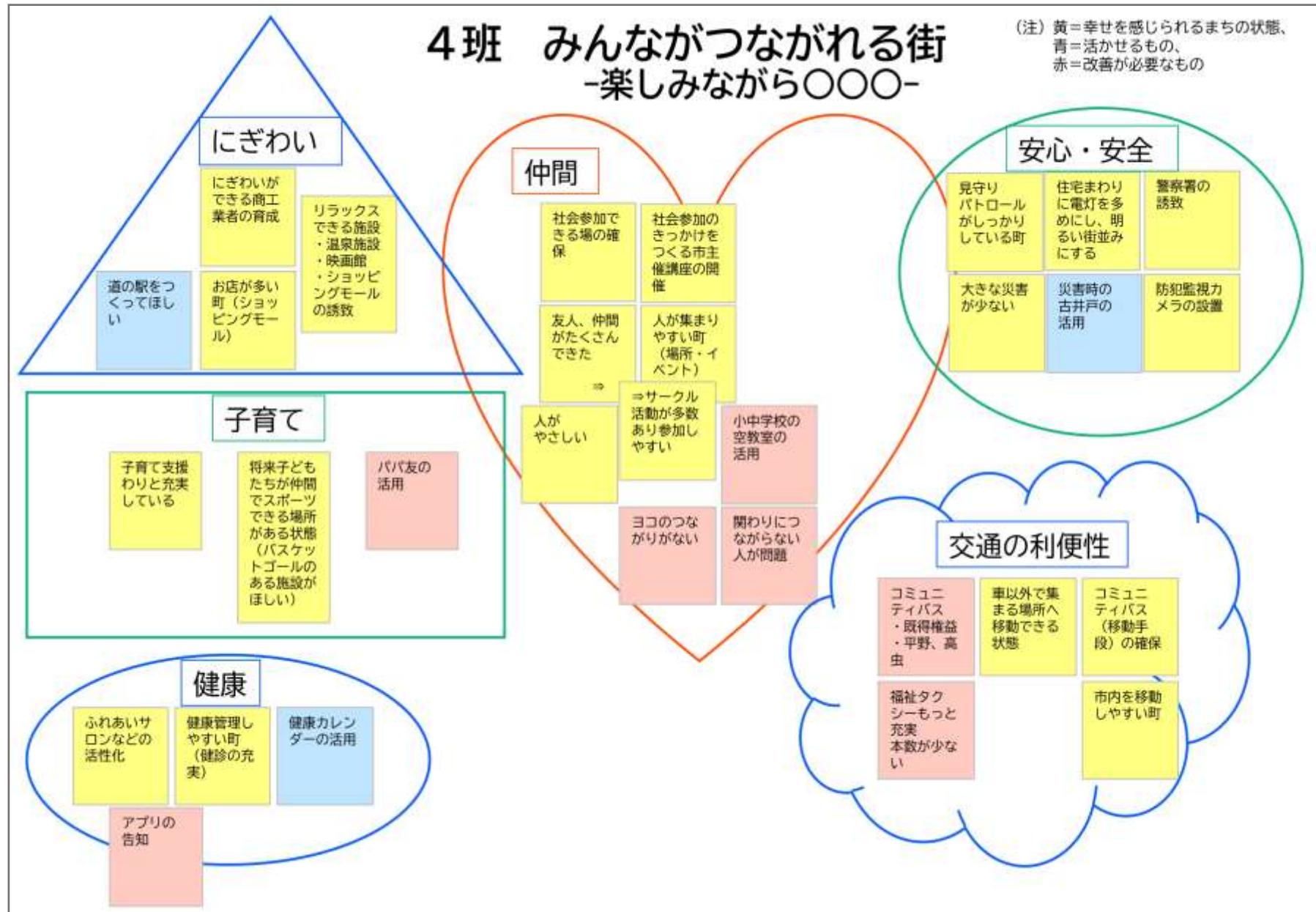
④ 第4班の意見概要

キャッチフレーズ 「みんながつながれる街」

- ・ キャッチフレーズは「みんながつながれる街」とし、サブタイトルは「楽しみながら〇〇〇」とした。この〇〇〇というのが、にぎわいとか、子育て、健康、仲間、安心安全、交通の利便性にあたり、楽しみながら、みんながつながれる街を目指していきたいと考えた。
- ・ 一番は仲間について。課題は、小中学校の空き教室があるので、こちらを活用してはどうか。また、世代間によって違いがあり、上の年代の方は色々なつながりがあるが、30代、40代とか、特にパパ友など、なかなかつながりがない状況で、どうやってつなげていくかが課題となっている。
- ・ 交通の利便性について、コミュニティバスがなかなか活用されていない状況である。問題点としては、既得権益もったり、平野や高虫の方まで充実するといいのではないか。それにつながる問題として、福祉タクシーも充実してはどうか。本数も少ないので、今後の課題を考える。
- ・ にぎわいについて、ショッピングモールもあった方が、子育て世代としては、子どもを遊ばせておくとかできるので、ちょっと小さなエリアでもいいので、そういうところを設けていってはどうか。また、道の駅をつくって、そこに何か小さなイベントを企画して、にぎわいができるようなまちを模索していくたらどうか。
- ・ 蓼田病院の方がいて、健康についても色々話して、すでに蓼田市には健康カレンダーというものがあるが、なかなか認知されてない状況がある。自分たちからアクセスする必要があるので、アプリから告知するようなシステムをつくるとよいのではないか。せっかくシステムがあるのに、知らない方が多いのはもったいない。



模造紙再現(4班)

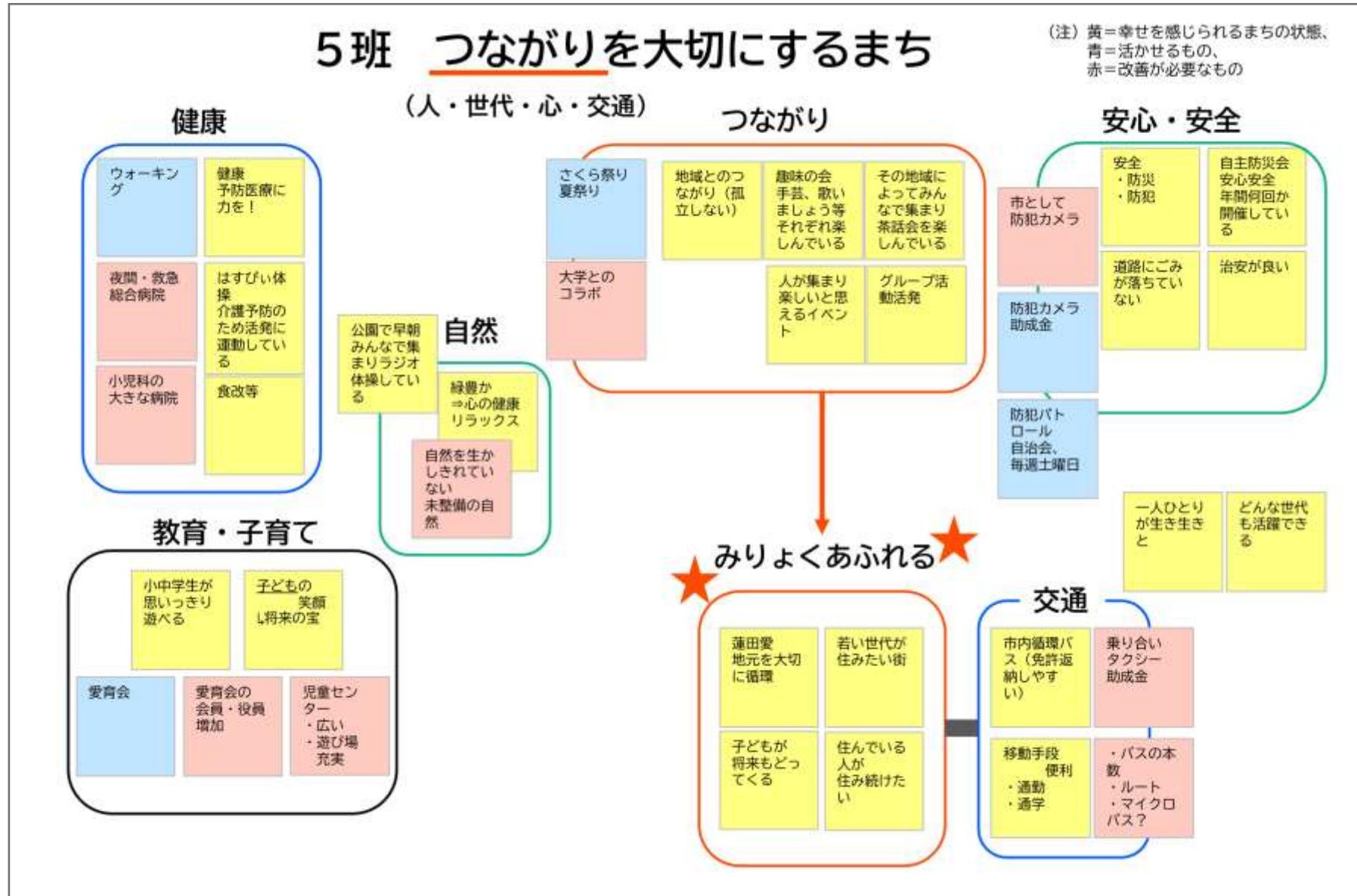


⑤ 第5班の意見概要

キャッチフレーズ 「つながりを大切にするまち」

- ・ キャッチフレーズを「つながりを大切にするまち」とした。それぞれの分野を話し合う中で、特に人とのつながり、世代間のつながり、心のつながり、そして交通のつながりの4つを大切にしていきたいと考えた。
- ・ まず、人とのつながりについて、現在、桜まつりや夏まつりなど、市の中心イベントがあるが、なかなか大きな祭りなのに人の集まりが足りていないのではないか。5班には市内の大学に通っている方もいて、その大学とのコラボもあると人が集まっていると思う。大学の学祭デーや、市の祭りに大学の方が参加するのは今までにあまりないので、そういったところから新しいつながりが生まれるのではないか。
- ・ 次に、世代間のつながりについて。愛育会では、子どもたち、小さなお子さんを育てるママとの集まりがあって、シニア世代でも、自治会で集まりはあると思うが、どうしても働き盛りの30代、40代を巻き込んでのつながりが薄くなっている。活発に活動されている自治会と、そうではない自治会があり、自治会による差もあるようだ。そこで、心のつながりにも関係するが、孤立しない、させない取り組みが必要だと感じた。
- ・ 最後に、交通のつながりも必要。「みりよくあふれる」を強調して書いたように、現在、蓮田市に住んでいる方が地元に住み続けたいまちであること、そして私も幼い息子を育てているが、将来大きくなって働きに出た時に、他市に移り住んでしまうのではないか。蓮田市に戻ってきて、また同じように子育てをしてくれる、そんなまちになってほしい。そのためには、交通がもっともっと便利にならないと難しい。通勤や通学での移動手段はもちろん、例えば、将来、免許返納する時に、今までは近くに歩いて行けるスーパーがない。バスは一時間に2、3本しかないのでちょっと難しい。白岡市では乗り合いタクシーがあるそうで、蓮田市でも助成金を出すとか。バスの本数を増やす、ルートを見直すなど、伊奈町では、マイクロバスのけんちゃんバスもあるそうなので、そういった形で交通がもっともっと便利になると、さらにつながりを大切にするまちになるのではないか。





4. 参考資料

資料①

募集チラシ(オモテ面)



募集チラシ(ウラ面)

申込方法

下記のいずれかの方法でお申込みください。

① 同封の申込書にご記入の上、蓼田市総合政策部政策調整課 政策調整担当までご提出ください。市民意識調査の封筒も同封していただくことも可能です。
令和7年7月23日(水)必着

② 二次元コードを読み込み、オンラインでお申ください。
お申込み詳細は
こちらから


※できる限り全2回の日程にご参加いただきたいと考えていますが、ご都合のよい日程のみのご参加でも構いません。
※申込者多数の場合、出席可能な日が多い方を優先し、幅広い年代の方に参加いただけるよう調整します。結果は令和7年8月上旬に、文書で通知します。

蓼田市役所 西棟 実内図 (※西棟は本庁舎とは別の建物です)



各回当日の流れ

- 開会・オリエンテーション
- グループワーク (分科会検討)
- まとめ・発表 (パネル発表)



**蓼田市総合政策部
政策調整課
政策調整担当**

〒349-0193
蓼田市大字馬場3799番地
TEL 048-768-3111
(内線206, 207)
E-mail:koku@city.hidaka.lg.jp